

地域まちづくり推進事業実施報告書

1 事業実施者	団 体 名	学習室「らっこ」実行委員会
2 事業の名称		神楽地区子どもの居場所づくり事業
3 実施期間		令和5年4月1日から令和6年3月30日まで
4 事業内容		<p>● 神楽公民館における「学習支援（学習室の開設）」（※神楽公民館との共催事業）</p> <p>神楽まち協委員，学校関係者，地域協力者など地域のボランティアが見守る中，宿題・ドリル等の持込みによる「学習室」を開設し，主に大学生が教師役を務め，支援を行った。</p> <p>なお，参加者の検温や手指消毒，換気など，感染症予防対策を徹底して実施した。</p> <p>1 開設期間 令和5年4月1日～令和6年3月30日 毎週土曜日（休館日等を除く） 9：30～11：30 合計48回開設（予定） （※令和5年5月20日は，小学校運動会日程と重複したため中止）</p> <p>2 開設場所 神楽公民館「交流室」（神楽3条6丁目）</p> <p>3 対象・参加費 小中学生・無料</p> <p>4 参加者数 小中学生延べ263人，教師役延べ73人，見守り延べ71人 合計延べ407人（※令和6年3月16日時点）</p>
5 成果と課題		<p>【成果】</p> <p>事業開始から6年目を迎え，感染症予防対策を徹底しながら実施している。今年度の新規参加者は18人にのぼり，地域に定着している。また，教師役として，旭川医大看護学科学生の協力者が39名参加していることから，地域の教育機関との連携も強化されつつあり，子どもの居場所づくりとして一定の成果を収めることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>他の既存組織との更なる連携など，より多くの協力者を巻き込み，将来的には地域による自主運営が可能な体制を整えていく必要がある。</p> <p>また，教師役として大きな役割を果たしている，旭川医大看護学科との協力関係を維持・発展させていくことも必要である。</p>